

宇都宮市つながりサポート女性支援事業【宇都宮市】

個別事業費	13,537 千円
交付金額	10,152 千円

地域の実情と課題

- ・市配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数や県配偶者暴力相談支援センターにおけるDV被害者の一時保護件数は減少しているが、本市のDV被害者への聞き取り調査からは、5年以上の長期間に渡り加害者から暴力を受けていた被害者が多い状況であり、また、被害者が相談に行くまでに時間がかかった理由として、「自分さえ我慢すればやっていけると思った」や「どこに相談してよいのかわからなかった」との回答も多いことから、困難な状況に置かれた女性が潜在化している可能性もあり、広く相談窓口を周知していくことが必要である。

目的・目標

- ・不安や困難を抱える女性が社会との絆やつながりを回復するため、市とNPO等が連携・協力し、市民の身近な場所において、生理用品の提供をきっかけとした相談支援を行うとともに、市と連携するNPO等とのネットワークの構築により、課題や情報を共有しながら女性への相談支援に一体的に取り組む。

事業の特徴

- ・ 受託者の地域医療・保健・福祉の専門性やノウハウを活用し、地域で活動するNPO等と連携しながら、生理用品の提供をきっかけとした女性の相談・支援等を実施
- ・ 大型商業施設や図書館などにおいて、潜在的な相談対象者の掘り起こしを目的としたアウトリーチ型の出張相談会を実施
- ・ 地域で活動するNPO等協力団体との連携による相談支援の実施
- ・ 支援人材の養成として、各地区の民生委員児童委員やNPO等協力団体を対象とした出前講座の実施
- ・ 市と協力団体との連携や協力団体相互の連携によるネットワーク強化のため連携会議の開催

連携団体

- ・ 令和5年度「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」協力団体 (97団体)
【内訳】: 医療機関, 女性支援, 子ども支援, 保健・福祉, 高齢者支援, 外国人支援, 若者支援, 地域包括支援センターなど
- ・ 宇都宮市虐待・DV対策連携会議 (20団体)
【内訳】: 宇都宮地方法務局, 栃木県警察, 市民生委員児童委員協議会, 市社会福祉協議会など

事業の効果

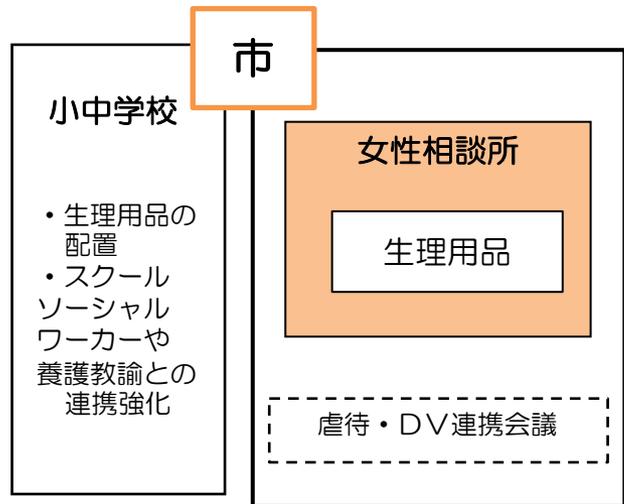
- ・ スーパーマーケットや銀行などの市民が日常利用する場所に、チラシやカードを配架したことにより、相談窓口の周知が図られた。
- ・ 受託者による常設相談窓口を設置したほか、アウトリーチ型の出張相談会を、大型商業施設や公共施設などで実施することで、市民に身近な場所での相談支援に取り組むことができ、潜在化・孤立化が懸念された困難を抱える女性の掘り起こしにつながった。
- ・ 地域で支援に取り組むNPO団体との連携を図るため、連携会議を設置したことで、本市における官民連携や地域連携による相談・支援体制の強化を図ることができた。(NPO等協力団体97団体)

今後の課題

- ・ 複雑化・複合化した相談案件について、円滑で切れ目ない支援につなげていくため、庁内保健福祉部門や子ども部門等と連携を図るとともに、様々な分野で専門性を有するNPO等協力団体との連携やネットワークを一層強化していく必要がある。

事業の概要

宇都宮市つながりサポート 女性支援事業 (相談フロー イメージ図)



↓協力団体連携会議の様子



↑常設相談窓口の様子



←アウトリーチ型の出張相談会の様子
(大型商業施設)

